

にらさき

第1回定例会(3月)	P2
委員会活動報告	P4
議決結果一覧表	P5
ここが聞きたい(代表・一般質問) ..	P6



三井金属ダイカスト株式会社 40名の皆さん

4月7日(土)、JR荊崎駅前広場で虎泰隊の出陣式が大勢の皆さんが見守る中で盛会に開催されました。本年は、三井金属ダイカスト株式会社 社長 中澤 広幸 様を大将に迎え、総勢40名の武者が出陣を告げるのろしの合図とともに、勇ましい姿で信玄公が待つ甲府舞鶴城本陣へ向け出陣しました。



荊崎工業高校太鼓部の皆さん

出陣式では、今年も荊崎工業高校太鼓部の皆さんに勇壮な太鼓演武を披露していただきました。

その迫力はまさに出陣の絵巻にふさわしく、虎泰隊や観覧した皆さんから盛大な拍手が送られ、会場は大いに盛り上がりました。

力強くたくましい荊崎工業高校太鼓部の皆さんのますますのご活躍を期待します。



高添秀明議員 逝去

高添秀明議員（69歳）は、去る平成30年3月12日逝去されました。
3月14日の第1回定例会（3月）閉会の冒頭で、故高添秀明議員に対し、
議会を代表して、田原一孝議長が追悼の言葉を捧げました。
謹んで哀悼の意を表し、心からご冥福をお祈り申し上げます。

平成30年度

当初予算総額247億9,978万6千円

内訳

- 一般会計 136億2,000万円
- 特別会計（13会計） 71億5,070万8千円
- 企業会計（2会計） 40億2,907万8千円

第1回定例会（3月）は、2月22日から3月14日までの21日間で開催され、平成29年度の一般会計、特別会計及び企業会計に係る補正予算、並びに平成30年度の一般会計、特別会計及び企業会計の当初予算、条例の制定、一部改正が議会に提出されました。

市長所信表明において、平成30年度の当初予算は、厳しい財政状況下のもと、「第6次長期総合計画」や「韮崎市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を重要政策に位置付ける中で、引き続き、費用対効果の高い事業を優先的に選定し、積極的な予算編成を行ったことが示されました。結果、一般会計当初予算案は前年度に比べ3.7%減の136億2,000万円となりました。

会期中、提出議案について各常任委員会の審査や本会議での審議を通じて、議論を交わしました。

審議した条例等及び採決の結果は、5頁の「平成30年第1回定例会議決結果一覧表」をご覧ください。

なお、平成30年度の当初予算と主要事業につきましては、広報にらさき4月号の巻頭に特集記事が掲載されていますのでご覧ください。

【主な条例の一部改正】

■ 国民健康保険税条例の一部を改正する条例（議案第32号）

国民健康保険の制度改正により、平成30年度から財政責任主体が山梨県になることに伴い、資産割を廃止し、税率及び税額を引き下げられるものです。

【課税額の算定区分の改正】

- 現行：4方式（所得割、資産割、均等割及び平等割）
- 改正後：3方式（所得割、均等割及び平等割）

【税率及び税額の改正】

（単位：円・%）

区 分	医 療 分					
	所得割	資産割	均等割	平等割	特定世帯	特定継続世帯
現 行	7.00%	25.00%	24,700	21,200	10,600	15,900
改正後	6.50%	—	21,800	15,800	7,900	11,800
区 分	支 援 金 分					
	所得割	資産割	均等割	平等割	特定世帯	特定継続世帯
現 行	2.70%	7.00%	7,900	8,600	4,300	6,450
改正後	2.20%	—	7,300	5,300	2,600	3,900
区 分	介 護 分					
	所得割	資産割	均等割	平等割		
現 行	2.50%	7.00%	9,500	7,200		
改正後	1.80%	—	8,200	4,200		

・ 施行期日：
平成30年4月1日

■ 後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例〔議案第34号〕

高齢者の医療確保に関する法律の一部改正に伴い、国民健康保険の被保険者の住所地特例の適用制度が次のように見直されました。

〔75歳到達時に後期高齢者医療の適用を受けるときの住所地要件〕

- 現 行：現在の住所地における後期高齢者医療を適用
- 改正後：住所地特例を受けていた市町村の後期高齢者医療を適用
- ・施行期日：平成 30 年 4 月 1 日

■ 病児・病後児保育所条例の一部を改正する条例〔議案第35号〕

県下で病児・病後児保育施設の広域化を推進するに当たり、本市においても利用者の住所要件等が見直されました。現在、市では生後 6 か月から小学校 6 年生までの子どもを対象として、荏崎市立病院内の専用保育室に病児・病後児保育所『スマイル』を開設しています。

〔対象者の改正〕

- 荏崎市に住所を有する者の住所要件の廃止

〔利用料の改正〕

- 市外に住所を有する者の利用料の引下げ

対 象 者	平成 30 年 3 月 31 日まで	平成 30 年 4 月 1 日から
県内に住所があり、生活保護世帯または、前年度分市県民税非課税世帯	無 料	無 料
市内に住所があり、前年度分所得税非課税世帯	日額 800 円	日額 800 円
	1 時間につき 120 円	1 時間につき 120 円
上記以外、市内に住所がある世帯	日額 1,700 円	日額 1,700 円
	1 時間につき 240 円	1 時間につき 240 円
市外に住所がある世帯	日額 3,000 円	日額 2,500 円
	1 時間につき 420 円	1 時間につき 350 円
昼食代（希望者のみ）	540 円	540 円

- ・施行期日：平成30年 4 月 1 日

〔お知らせ〕

利用するには事前登録（無料）が必要です。注意事項もありますので、詳細は「福祉課子育て支援担当」にお問い合わせください。

◇申請・問合せ：福祉課子育て支援担当 TEL 22-1111（内線 173、174、175）

【人事】

■ 監査委員の選任について〔議案第42号〕

監査委員 樋口正幸氏が平成30年 4 月30日をもって任期満了となるため、その後任者の選任について市長から議会の同意を求める提案がされ、その選任に同意しました。

中嶋 尚夫 氏（本町二丁目）

【請願】

■ 荏崎市の申請等取扱い窓口における非行政書士行為排除の徹底を求める請願〔請願第 30－1 号〕

- 提出者：山梨県行政書士会 会長

委員会活動報告

総務教育常任委員会

■平成30年3月7日 委員会開催

〔主な審査事項〕

- 議案第30号、第31号及び第41号
- ・右の3議案は、全員一致で可決すべきものとすることに決しました。
- 請願第30-1号・葦崎市の申請等取扱い窓口における非行政書士行為排除の徹底を求める請願（新規案件）
- ・右の請願について、行政書士が扱う事務の範囲などについて、請願提出者への質疑や委員間で意見を交わしましたが、本件は、引き続き調査研究していくことが必要との意見が出され、採決の結果、継続審査案件とすることに決しました。

■平成30年5月16日 現地視察調査

- 葦崎北東小学校・葦崎西中学校・新府城跡
- ・右の市内2校と新府城跡を視察しました。学校では、授業を参観後、児童・生徒の通学時の安全確保や学習意欲、体力の向上に向けて工夫している取組みなどについて報告を受け、教職員と意見交換しました。また新府城跡の現地視察では、公有地化や駐車場の現況などの説明を受け、今後の整備計画などを確認しました。



葦崎西中学校現地視察

市民生活常任委員会

■平成30年3月7日 委員会開催

〔主な審査事項〕

- 議案第28号、第29号、第32号、第33号、第34号、第35号、第36号及び第37号
- ・右の8議案は、全員一致で可決すべきものとす

ることに決しました。
□議案第38号は採決の結果、賛成多数で可決すべきものとすることに決しました。

■平成30年5月11日 意見交換会の開催

□子育て支援センター「にら★ちび」

「にら★ちび」子育て
♥すくすくスマイル
ミーティング」と称
して、子育て支援セ
ンターを利用してい
る子育て中のお母さ
ん方に育児に関する
疑問や課題について
率直な意見を伺い、
安心して子育てでき
る環境についての認
識を深めました。
ご参加いただいた皆様の貴重なご意見を、子ども達の豊かな将来像を描き出していくため、今後の議会活動に活かしていきます。



「にら★ちび」での意見交換会

■平成30年5月18日 現地視察調査

- たんぽぽ保育園・恵信葦崎相互病院・社会福祉協議会

産業建設常任委員会

■平成30年3月8日 委員会開催

〔主な審査事項〕

- 議案第39号及び第40号
- ・右の2議案は、全員一致で可決すべきものとすることに決しました。

■平成30年5月14日

意見交換会の開催

市商工会館において、市商工会長や各部会長の皆様方に出席いただき、市内商工業の現状



商工会館での意見交換会

や経営基盤の充実、地域経済の振興などについて、意見を交わしました。
中小企業や商店を取り巻く社会情勢や後継者問題、市民ニーズについてなど、貴重なご意見をいただきました。委員会として、事業者の皆様への働く意欲を後押しする取組みの充実、強化を執行部に働きかけていきます。

議員定数等調査特別委員会

□県内2市議会（都留市・大月市）並びに千葉県鴨川市議会を視察研修

本特別委員会では、議員定数など議会のあり方に関わる他市議会の取組みを調査研究するため、県内の都留市、大月市両市議会と鴨川市議会を視察研修してきました。



都留市議会での研修

それぞれの議会において取組みに至った経緯や改正後の議会の運営状況や議員の活動状況などについて説明を受けた後、本市の現状や市議会について特別委員会の設置に至った経緯、現在までの取組みを紹介しながら情報を交換し、民意の捉え方や現在の議会運営に係る課題など活発な意見交換を行うことができました。

また、5月20日には委員会の主催において、東京エレクトロン葦崎文化ホールにて、講師に山梨学院大学教授 江藤 俊昭氏をお迎えし、市民参加の議員研修会を開催しました。講演や意見交換を通じて、議会のあり方や議員定数などについて市民の皆様と共に考え、議会の役割を学ぶ有意義なものとなりました。今後を見据えた適正かつ効率的な議会や議員の構成を導き出すよう、調査研究に一層力を注いでいきます。

なお、特別委員会委員は1人欠員となっていました。4月から一木長博議員が委員に選任されました。

平成30年 第1回定例会議決結果一覧表

賛否のあった議案

○：賛成 ●：反対 欠：欠席 失：失職 （田原一孝議長を除く）

議案番号	件 名	金井 洋介	木内 吉英	小沢 栄一	内藤 正之	渡辺 吉基	浅川 裕康	守屋 久	宮川 文憲	高添 秀明	清水 康雄	山本 雄次	西野 賢一	輿石 賢一	森本 由美子	一木 長博	小林 恵理子	結果
議案第12号	平成30年度一般会計予算	○	○	○	○	●	○	○	○	失	○	○	○	○	○	○	●	可決
議案第38号	介護予防・日常生活支援総合事業の実施に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	●	○	○	○	失	○	○	○	○	○	○	●	可決

全会一致の議案

議案番号	件 名	結果	議案番号	件 名	結果
議案第 1 号	平成29年度一般会計補正予算（第5号）	可決	議案第23号	平成30年度第二御座石前山恩賜林保護財産区特別会計予算	可決
議案第 2 号	平成29年度国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	可決	議案第24号	平成30年度旭山恩賜林保護財産区特別会計予算	可決
議案第 3 号	平成29年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	可決	議案第25号	平成30年度八森恩賜林保護財産区特別会計予算	可決
議案第 4 号	平成29年度簡易水道特別会計補正予算（第1号）	可決	議案第26号	平成30年度戸沢日影半腹裾恩賜林保護財産区特別会計予算	可決
議案第 5 号	平成29年度下水道事業特別会計補正予算（第2号）	可決	議案第27号	平成30年度青木御座石財産区特別会計予算	可決
議案第 6 号	平成29年度介護保険特別会計補正予算（第4号）	可決	議案第28号	社会福祉法人に対する助成の手続を定める条例	可決
議案第 7 号	平成29年度介護サービス事業特別会計補正予算（第1号）	可決	議案第29号	指定居宅介護支援等の事業に関する基準等を定める条例	可決
議案第 8 号	平成29年度第一鈴嵐恩賜林保護財産区特別会計補正予算（第1号）	可決	議案第30号	消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例	可決
議案第 9 号	平成29年度第二鈴嵐恩賜林保護財産区特別会計補正予算（第1号）	可決	議案第31号	情報公開条例及び個人情報保護条例の一部を改正する条例	可決
議案第10号	平成29年度第二御座石前山恩賜林保護財産区特別会計補正予算（第1号）	可決	議案第32号	国民健康保険税条例の一部を改正する条例	可決
議案第11号	平成29年度旭山恩賜林保護財産区特別会計補正予算（第1号）	可決	議案第33号	国民健康保険条例の一部を改正する条例	可決
議案第13号	平成30年度国民健康保険特別会計予算	可決	議案第34号	後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例	可決
議案第14号	平成30年度後期高齢者医療特別会計予算	可決	議案第35号	病児・病後児保育所条例の一部を改正する条例	可決
議案第15号	平成30年度簡易水道特別会計予算	可決	議案第36号	介護保険条例の一部を改正する条例	可決
議案第16号	平成30年度下水道事業特別会計予算	可決	議案第37号	指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例	可決
議案第17号	平成30年度介護保険特別会計予算	可決	議案第39号	都市公園条例の一部を改正する条例	可決
議案第18号	平成30年度介護サービス事業特別会計予算	可決	議案第40号	市道に設ける道路標識の寸法を定める条例の一部を改正する条例	可決
議案第19号	平成30年度国民健康保険葦崎市立病院事業会計予算	可決	議案第41号	辺地総合整備計画の策定について	可決
議案第20号	平成30年度水道事業会計予算	可決	議案第42号	監査委員の選任について	同意
議案第21号	平成30年度第一鈴嵐恩賜林保護財産区特別会計予算	可決	議 第 1 号	議会委員会条例の一部を改正する条例	可決
議案第22号	平成30年度第二鈴嵐恩賜林保護財産区特別会計予算	可決	議 第 2 号	議会基本条例の一部を改正する条例	可決

代表質問・一般質問

にらさきの まちづくり ここが聞きたい

10人の議員が市政を問う

代表質問及び一般質問の内容は、項目は抜粋、質問と答弁は要約したものです。

詳細な内容は、" 苺崎市ホームページ→市議会→会議録検索 " でご覧いただけます。録画中継も配信しています。

代表質問

市政方針について



宮川 文恵 議員
[苺真クラブ]

質問 平成30年度予算編成で活力と魅力あるまちづくりをテーマとして重点とした項目を伺う。

答 市長 私は市長就任以来、「市民目線の活力あるまちづくり」を基本理念に、「強くて美しいまち」「元気で豊かなまち」「夢と思いやりのあるまち」の3つの挑戦を実現させるため、市民との協働による「チーム苺崎」で市政運営に当たっており、第6次長期総合計画と、まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本理念のもと、出産、子育て、防災・減災のまちづくり、定住促進などに重点を置いた予算編成を行いました。

質問 苺崎市第7次総合計画の策定において、人口減少社会の到来を正視し、次の世代を担う若者たちの夢が膨らむ将来展望に切れ目のない政策体系を練り上げ、継続して

いくことが欠かせないと考えるが所見を伺う。

答 市長 市民主体の総合計画を策定するため、若者の視点から本市の未来像についての意見もいただき、まちづくりシンポジウムの開催など、より多くの意見を基にして、魅力ある将来像を描いていきます。

赤ワインの丘プロジェクト事業の進捗について

質問 今後の拠点整備と6次産業化を担う商工会の赤ワインの丘プロジェクト推進委員会や地元農家との連携に、行政はどのような関わりを持つ事業推進に寄与するのか。

答 市長 明年度、赤ワインの丘ブランド化推進事業により、関係機関や地元農家などで構成された協議会を設立するとともに、「武田の里フェスタ・苺崎」において、PRイベントの開催、また、収穫祭を行うなど、農商工連携による事業推進に努めていきます。

上ノ山・穂坂地区工業団地拡張に伴

周辺道路整備について

質問 中央自動車道側道の市道（穂坂）38号線は、近年企業立地及び既存企業施設の拡張に伴い、大型車の通行も増え、車両の通行に支障が生じており、早急な一部拡幅整備を望むが見通しを伺う。

答 市長 要望箇所を確認しましたので、今後、実施可能な箇所から検討していきます。

質問 上ノ山地区内の道路整備計画の進捗状況を伺う。

答 市長 本年度、道路整備に関する地区説明会を行った際に、道路建設委員会を立ち上げていただくこととなったので、今後、事業推進のため、地区と連携しながら進めていきます。

質問 主要地方道苺崎昇仙峡線の整備に伴う、中央自動車道をまたぐ歩道橋について、ネクスコ中日本との協議内容と事業の見通しをお聞きます。

答 市長 歩道橋は、現在、中日本高速道路株式会社と協議を行いながら詳細設計を進めており、早期完成に向け引き続き県に協力していきます。



金井 洋介 議員
[荏苒クラブ]

平成30年度当初予算について

【質問】 予算編成について。

【答】市長 「出産・子育て」「防災・減災のまちづくり」「定住促進」の3つのまちづくりの実現に向け、編成を行いました。

【質問】 3つのまちづくりにおける新規事業を次のとおりまとめた。「出産・子育て」は、分娩施設の誘致により、通院の課題が解消され、身近な地域での安心した出産が可能となる。荏苒すくすく子育て相談センターの開設により、寄り添い型の相談業務と円滑な関係部署の連携が図られ、妊産婦や乳幼児が、切れ目のない支援を受けることができる。子育てフェスティバル開催により、子育て支援団体の交流が実現し、今後の相乗効果にも期待できる。「防災・減災のまちづくり」は、デジタ

ル防災行政無線システムの導入により、通信エリアの拡大と機能の向上、複数チャンネルの通信や画像の高速データ送信が可能。

また、防災情報システムや土砂災害システムなどが活用でき、市民の安全・安心につながる。「定住促進」は、地域ブランド創

出関連事業を行い、市民が愛着と誇りを持てるまちづくり。住宅関係では、会派でも提言してきたが、これまでの移住者だけが受けられる支援制度から、市民にも活用できる制度としたこと。これらの考

えが、予算編成に反映されているとの認識でよろしいか。

子どもの貧困について

【質問】 実情について。

【答】市長 アンケート調査の結果から経済的な尺度だけでなく、家庭により学習や生活環境などにも配慮する必要があることを改めて認識しました。

【質問】 全ての子どもの発達と未来を保障しようと

する中で、残念ながら行政サービスが届きにくい、また不遇な状態で育たざるを得ない子ども達が出てくる。このことが子どもの貧困の本質ではないか。防ぐためには、全ての子ども達と保護者の実情に向かい合い、現時点の困窮がどうかに関わらず、温かく考えることが重要である。まず、最適な支援制度を受けられるようにするために母子手帳に制度を掲載。パパママ学級、幼保の入園時に制度の周知を行うこと。

次に、ひとり親家庭の支援策として、4月1月ごとに支給される児童扶養手当の毎月の貸付と家計管理のサポート、家賃の補助、空き家の活用等住宅

の支援を行うこと。更に、安全な「子ども食堂」運営のために食物アレルギーを持つ児童・生徒のアレルギー表示カードなどを作成すること。以上、今後の支援策について見

解をお聞きする。

【質問】市長 申請手続きや内容に応じた相談窓口の情報発信等、関係部署と連携し、周知方法の工夫などに努めます。

【質問】福祉課長 ご提案の内容は、庁内や教育委員



山本 雄次 議員
[協伸クラブ]

市長の政治姿勢について

【質問】 平成26年に初当選

以来、市民目線の施策実現に向け、甘利小学校の大規模改修、市民交流センターニコリ内ミアキスの開設、工業団地やワイナリーなど優良企業誘致、大村博士ノーベル賞受賞記念銅像の建立など、多くの事業を推し進められた市長に対し、多数の市民から再選を望む声があります。現在の心境を伺います。

【答】市長 今秋に予定されている市長選挙であり、残された任期までも一つでも多くの課題を解決すべく全力を傾注し、しかるべき時期に表明させていただきたいと考えております。

企業誘致について

【質問】 上ノ山・穂坂工業団地への地元雇用の望める企業の誘致について伺

います。
【答】市長 現在名乗りを上げている企業は三社であり、ますが、今後、地元雇用も考慮しながら選定してまいります。

分娩の出来る産婦人科医院の支援について

【質問】 分娩の出来る産婦

人科の開院は市民が待望しており、人口減少対策にも希望が持てるもので、市を挙げて応援すべきですが、施設誘致について、助成の規模と予定場所を伺います。

【答】市長 現在申請内容を審査しておりますが、助成額は4千万円を見込んでおり、開院の予定場所は、富士見一丁目地内との事であります。

買い物支援対策について

【質問】 「スーパーやま

と」の倒産による販売休止から、僅かな間で実績がある南アルプス市内の業者が事業継承するとの事で、市民の声に対する感知力が優れた対応だと感激しておりますが、応募業者の件数と委託経費・契約

期間について伺います。

【答】市長 昨年12月の公募に対し、応募や問い合わせがあった業者は、個人事業主4名と法人5社で、経費は移動販売車に係る年間3百万円を見込んでおります。また契約期間は、年度更新としておりますが、長期に事業継続できるよう努めてまいります。

峡北南部衛生センターについて

【質問】 峡北南部衛生セン

ターでは、平成29年度中に理事会で基本計画を決定し、順次予定されている計画を今後作成する施設整備の基本計画の中で検討するとの答弁がありました。がどの様な結果になったのか伺います。

【答】市長 計画の進捗状況ですが、本年1月甲斐市から、共同処理する区域に旧竜王地区を加え甲斐市全域への変更の旨が示され、協議の上、明年度以降、し尿処理施設整備基本計画の見直しを行う予定であります。環境整備についても基本計画の中で見直しを行い、用地交渉及び地区説明会も計画の見直し後、建設用地を決定した上で準備を進めてまいります。

代表質問

中小企業・自営業 に対する支援の充 実について



小林恵理子 議員
〔日本共産党〕

その他質問

- ◆市長の政治姿勢について
- ◆高齢者が安心して暮らせるまちづくりについて
- ・買い物弱者対策について
- ・住居の問題について
- ◆子どもの豊かな成長を保障する環境づくりについて
- ・子どもの貧困対策について
- ・適応指導教室「こすもす教室」の閉鎖について

設し、既存商店の経営改善を支援するほか、中小企業の従業員が資格を取得する際に補助金を交付するなど、中小企業・自営業者の支援に努めてきました。今後も、中小企業・小規模事業者振興協議会等での意見を参考に必要な支援策を検討していきます。

木造住宅耐震改修 の促進について

質問 住宅の耐震化は目標通りに進んでいません。高知県は、助成制度の拡充と低コスト工法を採用し、ほとんど自己負担なしに「耐震診断」と「耐震改修」を行え、全国一位の耐震工事総数となっています。補助制度を限度内全額補助にすることや耐震工事の低コスト工法の普及等を県にも働きかけ改善すべきです。

答 県の耐震改修補助の上限は60万円です。

地域屋内運動場の 建替えについて

が、市独自で120万円に上乗せしているのので、限度内の全額補助を行うことは考えていません。また、低コスト工法の普及は、県と共同して研究していきます。

質問 明年度から中田町屋内運動場の建替えが始まります。中田町は体育館建設委員会を設置し、昨年11月に要望書を提出しています。市は、中田、円野、穴山各町の体育館の基本設計を同じ仕様としていますが、地域ごとの要望を丁寧に検討し、協議をしっかりと進めていくことを求めます。

答 基本部分の構造・規模・平面計画は共通とする考えですが、3地域から提出の要望は、地域ごとに協議し、検討していきます。

一般質問

森林整備行政につ いて



一木 長博 議員
〔荳真クラブ〕

その他質問

- ◆県営中山間地域総合整備事業「武田の里地区」の推進について
- ◆主要地方道荊崎・南アルプス・中央線の道路整備について
- ◆地区要望について

森林整備について推進してまいります。

質問 近年民有林に林業事業体の参入が著しく、森林組合への影響が懸念されますが、峡北森林組合と林業事業体との関係について、市の見解をお示しくください。

答 林業事業体などの参入により、市場原理に基づいた効率化に繋がりが、また森林組合も地域林業の担い手として大きな役割を果たしているものと認識しておりますので、両者による地域林業全般の活性化と発展に期待するものであります。

少子化・人口減少 社会に対応した活 力ある学校教育推 進事業について

質問 この事業は、統合による魅力ある学校づくりや、統合困難な教育環境の取組モデルを創出する事業であり、北西小学

校と穂坂小学校が、小規模校を存続させる場合の教育活動の高度化事例研究として、学校教育に取り入れているものです。29年度の事業の成果と課題についてお示しくください。

答 ICTを活用した実践では、教科書だけでなく行事や特別活動等に活用することにより、児童も積極的に活用しようという意識が育ち、ICT機器を使用して効果的なプレゼンテーションを行うなど成果が出ております。

少人数での英語科の授業や外部講師による体験授業では、個々の発表の機会を多く設けることにより、豊かな表現力を身に付けることができ、地域の行事等においてもその力を発揮しております。本年度も小中連携を行ってまいりましたが、明年度はWeb会議による情報交換や遠距離授業を実施する予定であります。課題は人事異動による教員の入れ替わり後も積み上げたICT機器活用水準を維持していくことであります。



浅川 裕康 議員
[菰真クラブ]

東京オリンピック・パラリンピック開催へ向けた観光振興策について

質問 開催年を間近に控え、今後、日本を目指した世界的な人口移動が始まります。この機会を好機と捉え、荊崎市の魅力を大いに発信し、世界や国内の人たちに関心を持っていただき、本市に足を運んでもらえる施策を打ち出すべきと考えています。訪日外国人の観光客の増加は明らかと考えますが、本市観光振興策についてお聞きます。

荊崎市長 今後訪日外国人観光客は増加傾向を続けるものと認識しています。明年度は外国人の滞在型観光事業に実績のある富士ゼロックス株式会社の協力を得ながら、外国人が地方旅行に求める自然、歴史文化、地元の人との交流など、本市の資源を活かした自然体

験型のモニターツアーを四季折々開催し、地域活性化の方向性を探っていきます。また、明年度は観光パンフレットの外国語版を作成し、外国人観光客に対して本市の魅力を発信していきます。

質問 日本人観光客向けの観光振興策をお聞きます。

荊崎市長 現在、JR東日本並びにJAF、日本自動車連盟との間で、地域活性化に関する協定を締結し、観光振興のための様々な施策を進めていますが、引き続き民間事業者が有するノウハウやネットワークを有効活用しながら、情報発信の取り組みを強化していきます。また、東京オリンピック・パラリンピックを見据えた県の新たな観光計画との連携を視野に入れ、魅力的で実効性の高い観光振興に努めていきます。

質問 本年6月15日に住宅宿泊事業法が施行されます。いわゆる民泊サービスです。民泊サービスの適正化を図りながら観

光客や旅行者の来訪及び滞在促進を目指すための法整備です。先月23日に市町村担当者向けの説明会が開催されていますが、民泊サービスの提供に對しての本市の所見及びモニターツアーとの関係性をお聞きます。

荊崎企画財政課長 空き家の有効活用といった地域活性化の観点から、民泊サービスに対する期待が高まっているという状況であり、農家の体験型宿泊、農家民泊など、住宅宿泊事業法、民泊新法の施行によって通常家屋としての宿泊施設となり、本市には優良物件が相当数あると考えています。今回のモニターツアーでは、その関係者の方にスタッフとして参加していただき、ツアーの実施により明年度につなげていきたいと考えています。

質問 民泊サービスに関わる本市独自の条例化などの考えをお聞きます。

荊崎企画財政課長 過日、県において説明会があり、これから様々なことが動き出すと聞いているので、今後の動向を見極めながら対応していきたいと考えています。



小沢 栄一 議員
[菰政クラブ]

まちづくりについて

質問 市立病院の経営改善に係る取組について。

荊崎市長 昨年9月の病床再編により、地域包括ケア病床を開設することで、収益性の向上を図ってきました。一方、委託料などの見直しで経費削減にも努めました。今後の展望ですが、常勤医師の増員が図られていない現状の体制では、経常収支を目標年次までに黒字化することは大変厳しい状況です。経費削減の努力のみでは達成し得ない目標なので、引き続き常勤医師の確保に向けあらゆる方策を講じて、病院改革プランの着実な実行に努めていきます。

質問 中・高生からも要望されている通学路へのLED灯の設置や各地区で電気料を負担している防犯灯にソーラー発電機能の有するLED防犯灯

その他質問

◆農業振興地域制度について

を導入することにしています。

荊崎市長 防犯灯の設置は、消費電力の削減と機器の長寿命化によるメンテナンス性の向上や安定した明るさが確保できるので、優先的にLED防犯灯切替促進事業を進めています。また、ソーラー式の導入は、費用対効果や日照等により発電が不安定なため、現時点では導入予定はありません。

質問 ひとり暮らしの高齢者に対する高齢者福祉の充実が必要との意見があるが、今後の取組への考えについて。

荊崎市長 ひとり暮らしの高齢者に対する支援については、日常生活支援を行っています。今後も関係部署とも連携を図る中で、更なる高齢者福祉の充実、見守り体制の強化を進めていきます。

質問 公共交通について、「バスの便が少なく不便」「市民バスやタクシーを利用する高齢者への支援」「高齢者の運転免許証の自主返納に対する支援」

などの意見や支援策の充実が望まれているがその対応について。

荊崎市長 市民バスの運行は、地域住民の声を取り入れた運行ができるよう随時改善に努めており、明年度は電岡線の単線化とともに穂坂線の増便を図っていきます。また、高齢者のタクシー利用助成は、市民バスの運行が困難な地域に限定した事業なので、現在、地域の拡大などは考えておりません。なお、運転免許証の自主返納については、返納者の新たな外出支援策を検討していきます。

荊崎市宮火葬場について

質問 本市の火葬場は建設から40年以上も経過している。近隣他市では新たに火葬場が建設されているが、今後、市宮火葬場の移転も含めた建替計画について。

荊崎市長 火葬場については、火葬炉の定期修繕や大規模改修により、利用者の利便性の向上を図っています。当面は、計画的な修繕等を行い使用していく予定ですが、今後の施設のあり方についても検討していきます。



奥石 賢一 議員
〔協伸クラブ〕

学校教職員の多忙化の改善について

質問 最近の教育方針の複雑化・多様化により、教職員に掛かる負担が多く、悩まれて身体への影響が出る場合があると聞いております。教職員の一人ひとりの能力も限界があるなか、多忙すぎる環境では良い教育はできないと思います。改善策や今後の取組について伺います。

答 教育長 小中学校においては「山梨県教員の多忙化改善の取組方針」に基づき組織を設置し多忙化改善計画を策定して取り組んでいる所であります。

具体的改善策といったしましては、会議の効率化や部活動の原則週休2日制等があります。教職員がゆとりをもって子供と向き合う環境を整えてまいります。

その他質問

◆県道北原下条南割線羽根地区の道路拡幅計画の進捗状況について

子育て世代への助成策について

質問 「子育てするなら「葦崎市」のキャッチフレーズのもと、それに伴ったの施策は大変重要であります。

来年度より「葦崎すくすく子育て相談センター」の開設を予定しているとのことですが、妊産婦にとりましては大変喜ばしいことで期待するところであります。

子育て世代に対して他にどのような支援策があるか伺います。

答 市長 子育て世代への支援策は本市の子育て支援の核であり、他の市町村にはない充実した設備や利用者数を誇る子育て支援センターの運営をはじめ、新生児訪問や乳幼児健診、また保育所での保護者等への相談支援など、ライフステージに応じた支援を実施しています。

これらの各施策を保健・医療・福祉・教育の分野で実施しています。

割羽沢川農業用水取り入れ口について

質問 割羽沢川農業用水取り入れ口は、下流側に位置する龍岡町石宮地区・真葛地区さらには御勅使川の向かいにある南アルプス市野牛島地区にもあります。河川状況から水を取り入れるには本線内の水をせき止めなければならず一度よごせ引き入れなければなりません。この作業は増水したときなどは大変危険な作業となります。

今後の農業を支えるには、このような状況を放置すべきではないと考えますが、見解を伺います。

答 市長 石宮、真葛地区の取水調整は増水前の調整を基本とし、併せて設置されている水量調整堰による管理で安全確保をお願いするものであります。

また、堆積土砂の浚渫については河川管理者である県へ要望してまいります。



渡辺 吉基 議員
〔日本共産党〕

国民健康保険について

質問 山梨県からの「納付金」をもとに国保運営協議会の審議を受けて三月議会へ国民健康保険条例を改正する条例案が提案されました。葦崎市の来年度の国民健康保険税の1人当たり金額と、前年度よりいくら減額になるのか、さらに今後の基金の活用についてお聞きします。

答 市長 明年度の国保税の試算額は、1人当たり約8万円を見込んでおり、前年度に比べ2万3千円の減額になります。

基金については、保健事業を始め将来的な国保税の一本化に向け引き続き有効に活用してまいります。

質問 低所得者が安心して医療機関にかかれるようにするために医療費の一部負担金の減免等の制度が利用できるようにする

ことは大切なことです。国民健康保険法44条に基づき葦崎市の要綱は平成24年4月1日施行されましたが、申請者、適用者がいないということはどうしてなのか、周知の方法について伺います。

答 市長 納税相談や個別訪問などの機会及びホームページ等により広く制度の説明や周知を図っており、今後も個々の事情に応じて適切に対応してまいります。

高校3年生までの医療費助成の拡大について

質問 国は「来年度から未就学までを対象とする医療費助成については、国保の減額調整を行わない」と発表しましたが、葦崎市の国保の減額はどのくらいになるのか、お聞きします。

答 市長 本年度、子ども医療費助成に係る国保の減額調整措置は、約160万円を見込んでいます。

質問 高校3年生までの医療費助成については、県内では富士川町、市川三郷町、身延町、忍野村、

山中湖村で実施されており、昨年4月からは南アルプス市さらに甲斐市も入院を対象に実施、甲州市でも来年度から入院を対象にするとしています。子育て支援の立場から高校3年生まで医療費助成の拡大は重要と考えますが、市の見解を伺います。

第7期葦崎市高齢者福祉計画・介護保険事業計画（案）について

質問 計画（案）で平成30年度から平成37年度までの計画案が作成されました。その中で、地域密着型特養ホームの入所者数は、平成30年度から平成37年度まで現在と同じ29名となっています。重度な要介護になっても住み慣れた地域で暮らし続けられるように当面1ヶ所、施設を増やすことが必要です。見解を求めます。

答 市長 第6期計画期間中の全体的な傾向として、施設への入所申込者数も横ばいで推移していることから第7期計画では施設整備は行わないことと判断したところであります。



森本由美子 議員
[公明党]

超高齢社会に備えた地域包括ケアシステムの構築について

質問 本市の第7期高齢者福祉計画・介護保険事業計画の策定に当たり、実施されたアンケート調査で、介護認定を受けている方に「人生の最後に対する希望」を聞いた設問では4割以上が自宅で最後まで療養したいと回答し、まだ認定を受けていない65歳以上の約6割が介護が必要となった場合でも自宅で生活したいと回答しました。介護が必要となった場合でも自宅で暮らせるための在宅医療や介護サービスの確保、また、福祉介護分野の人材の確保と育成など地域包括支援センターの役割は重要です。行政と医師会が向き合い、多種多様な専門家と連携をとり、介護と連携した質の高い在宅医療体制を構築

その他質問

- ◆ 高齢者、障がい者の外出支援について
- ◆ 定住促進住宅、市営住宅へのインターホンの設置について

する必要があると思います。また、韮崎市立病院では、昨年から一般病床から39床を地域包括ケア病床に機能転換し、地域医療連携室のサポートによる退院支援を充実させていますが、安心して自宅に戻り、最後まで暮らし続けるためにも、在宅医療体制の充実が重要と考えます。このようなことから、地域包括支援センターの機能強化と介護と連携した在宅医療体制、それぞれの現状と今後についてお聞きします。

回答 地域包括支援センターの機能強化については、高齢者世帯の増加に伴い、総合相談の内容も多様化・複雑化しているため、専門的な知識の習得による制度改正への対応や医療・介護・福祉等の連携による個別事例の検討など課題に即した対応ができるよう地域ケア会議の整備を行い、機能強化に取り組ま

た。今後は、様々な職種間でそれぞれの役割を明確にし、高齢者を支えるためのネットワークの構築に努めていきます。次に、介護と連携した在宅医療体制については、本年度より医療介護の専門職で構成する在宅医療介護連携会議を開催し、現状の把握と課題の抽出や対応策を協議していきます。今後は、医療機関等との連携を推進し、在宅医療が提供される仕組み等を検討していきます。

産婦人科医院の開設について

質問 分娩施設の誘致は市民の長い間の要望であり、大変期待されています。今後、分娩とともに出産前後にも心身のケアや育児のサポートが切れ目なく受けられる産前産後ケア事業の実施についても行政の支援が望まれています。見解は。

回答 産前産後ケアについては、引き続き、県のケアセンターの利用促進を支援していきたいと考えています。

【議員定数等調査特別委員会】議員定数等に関するアンケート調査のお願い

議員定数等調査特別委員会では、市民の皆さまの議会並びに議員定数等に関する意識を把握し、今後の議会活動の基礎資料とするため、アンケートを実施しております。すでにお送りさせていただいております無作為抽出の市民1,000名の皆さまにはアンケートのご回答にご協力をお願いいたします。また、無作為抽出の対象でない方につきましては、市ホームページ内【注目情報】から、「山梨県電子申請やまなしくらしネット」を介して回答ができますので、ぜひご協力ください。

韮崎市役所

検索



市ホームページのトップページ【注目情報】にある「市議会議員定数等に関するアンケート調査について」から「やまなしくらしネット」を介してアンケートの回答ができます。

トピックス

■第41回武田の里ライフカレッジ開講式

4月19日、「平成30年度第41回武田の里ライフカレッジ」の開講式が執り行われました。本年も市内外から700名を超える受講の申込みがあり、毎月各分野でのエキスパートを講師に迎えての講演が計画されています。田原議長は祝辞で、「ライフカレッジは人生を豊かするための学びの場である」として、「ライフカレッジでの経験が『豊かな人生の糧』となるよう期待する」と述べました。



研修報告 ◆研修会

■ICT（情報技術・通信技術） 研修会の開催

本市議会では議会資料等のペーパーレス化についての調査・研究を進めております。5月10日、主管する議員が講師となり議場において、パソコン及びタブレットを利用した試験的な運用や操作方法を再確認しました。今後も、引き続き研究を重ね、無駄のない効率的な議会運営を目指します。



編集後記

4月6日から15日の間、春の全国交通安全運動が実施されました。期間中、県内では人身事故件数と負傷者数とともに昨年より減少しましたが、交通違反で検挙された件数は約20%増えたことが警察のまとめとして報道されていきました。交通違反で検挙されたうち、飲酒運転13件（対前年比7件増）、無免許運転13件（対前年比4件増）となっており、交通安全の意識が徹底できていない部分があることは否めません。本市でも運動初日に「道の駅にらさぎ」前の国道141号線で、各種団体に参加

いただき「春の交通安全運動街頭指導」を行いました。ドライバーは基本的な運転の仕方を初心に戻って徹底してほしいと思います。先読みのゆとりをもった運転が安全運転につながります。
(興石 賢一)

議会だより編集委員会
委員長 田原 一孝
副委員長 守屋 久
委員 山本 賢一
興石 雄次
清水 康雄
宮川 文憲
小沢 栄一

- 6月 7日 開会
諸報告
市長所信表明
- 18日 一般質問
19日 一般質問
20日 議案審議
財務常任委員会
(議案審議終了後)
総務教育常任委員会(午後)
21日 市民生活常任委員会(午前)
産業建設常任委員会(午後)
22日 特別委員会(午前)
26日 議案審議
委員会報告
閉会

■上記日程は予定です。定例会前の議会運営委員会において正式に決定されます。

※議会だより発行前に開会することもあるので、市ホームページでご確認いただくか、議会事務局にお問い合わせください。

■委員会の傍聴を希望する方は、開催日の2日前まで（休日を除く。）に申込手続きが必要です。

■本会議は、パソコンやスマートフォン、タブレットで議会ライブ中継をご視聴いただけます。

6月定例会日程〈予定〉